

まえがき	1
<b>第1章 気になる子どもの早期発見・早期支援と「かかわり指標」活用の意義</b>	5
第1節 発達の視点からみた気になる子ども	5
第2節 医学的視点からみた気になる子ども	8
第3節 「かかわり指標」活用の意義と特徴	12
第4節 理論背景	14
<b>第2章 「かかわり指標」の内容</b>	17
第1節 枠組み	17
第2節 評価項目	17
<b>第3章 実施方法</b>	19
第1節 実施方法	19
第2節 評価基準	21
<b>第4章 科学的な根拠</b>	23
第1節 発達心理学的な妥当性	23
第2節 信頼性と基準関連妥当性	28
第3節 気になる子どもの判別妥当性	31
第4節 得点分布と年齢別推移	34
<b>第5章 質問紙を用いた気になる子どもの早期発見：「幼児用社会的スキル指標」</b>	38
<b>第6章 実践例</b>	40
第1節 自閉症傾向の事例	40
第2節 広汎性発達障害傾向の事例	42
第3節 注意欠陥多動性障害傾向の事例	44
第4節 知的障害傾向の事例	46
第5節 虐待傾向の事例	48
<b>◆参考資料</b>	51
Appendix 1 「かかわり指標」	52
Appendix 2 Interaction Rating Scale (IRS10) 「かかわり指標」 英語版	53
Appendix 3 Information of Interaction Rating Scale (IRS) : Description of Measure 「かかわり指標」活用説明 英語版	54
Appendix 4 「幼児用社会的スキル指標」	56
<b>索引</b>	57
<b>謝辞</b>	59
<b>執筆者</b>	60